

## 【入賞】

### No.21 「アレルギーの「見える化」を助ける ボード・マグネットセット」

沼倉美羽 サレジオ工業高等専門学校

#### 受賞コメント

このような賞を頂けて、大変光栄に思います。恥ずかしながらこのコンペティションに参加するまで「減災」というものをあまりよく知らず、まずは「減災」を知るところから始めた提案でした。しかし、実際に起こっている問題や自分と母の体験談に絡めつつ進めていくことができたので、芯のある提案にすることができたと思います。



#### 評価コメント

アレルギー症状をもつ人の食物摂取による危険は、時として生命にかかわり、通常は気をつけていても、非常時にはそこまで注意できない事態が想定されます。この提案はユーザー・フレンドリーな内容で、用意する側にとっても負荷の少ない簡便さが魅力です。付記すれば、高等専門学校での学びの様子が想像できて嬉しくなりました。（森山）

支援者側ではなく支援が集まる受援側の立場として、情報をマネジメントしようとする考え方は重要に思う。（荒木）

実用性の高い提案。食堂やホテルのビュッフェスタイル、パーティー会場などいろいろなところで手軽に使用できそう。（相良）

この発案が伝える現状に対する問題意識が評価される。が、非常時の困窮した現場で1つの食品に対してかかる表示の手間等を考えると、もっとコンパクトで安価なものを開発しないと普及が難しい。また、非常時のみの課題ではないので、日常的に使うツールとして開発し、それを非常時にも同じく使う、という観点こそ(減災デザイン的にも)大切にしたいと感じた。具体的には1枚の紙にすでに全てのアレルギーアイコンが示されており、この食品に含まれているものをチェックするだけの使い捨てのシートで事足りる。またそれを使用現場でどこにどう掲示するのか、テントの梁に取り付けることだけの想定では使いにくい。料理鍋に直接またはその脇に取り付けられたり、テーブルから手前に垂らしたりと、汎用的に使えるプロダクトとなれば、価値が上がりそう。（平林）